

世界への協働推進委員会		理事委員長 白濱史教
(1)基本方針		
<p>国家間のルールや国際社会の仕組みの変化に加え、交通や情報通信における科学技術の発達によって、国境を越えて人やモノ、経済や情報などの交流が活発化し、国際化は日に日に加速度を増しています。この急速に進む国際化の流れのなか、静岡青年会議所では「先進100万人都市 輝く静岡」という目標を掲げ、その目標の実現のための一つの戦略として、静岡市の国際化、すなわち、私たちの住むまち静岡市を国際都市にすることで、このまちの交流人口と定住人口を増加させる運動に全力で取り組んできました。</p> <p>本年度当委員会では、First Visionで定めた「先進100万人都市 輝く静岡」の創造を実現すべく、静岡青年会議所の中長期計画Road to Millionの検証を行いながら、その中で掲げた国際アカデミーの静岡市開催の実現に向けて、出向活動と相乗させ、静岡市だけでなく、より広い世界とつながることで得た視点を組織やまちに活かして運動できる体制を構築します。</p> <p>そのために、定時総会に向けて国際アカデミー開催地LOM立候補届出書の案の作成をはじめとした、開催に向けた準備と誘致活動に取り組んでいきます。くわえて、国際アカデミー開催の目的と意義、効果について会員や関係諸団体、市民に対しての啓発活動にも取り組み、国際アカデミー開催に向けた機運を内外に高めていきます。さらに、静岡青年会議所を代表して活動している出向者が活動に集中できる環境と、静岡青年会議所らしいおもてなしの心で来静者を支援してまいります。また、出向先で得られる貴重な経験をLOM内に発信し、全会員で共有することで、LOM力の向上へと高めていき、次年度以降の出向希望者の拡大につなげていきます。最後に、2020年はFirst Vision・ロードマップ再検証の年に当たることから、2016年から2020年までの活動や取り組みを検証するための組織を立ち上げ、2021年以降に会員一同が共通のゴールを理解して運動していけるように、ロードマップや運動計画を構築し直していきます。</p> <p>国際化に向けて協働することはまちの躍動につながります。静岡青年会議所が中心となってまち全体を巻き込み協働することで得られる相乗効果は計り知れません。会員一人ひとりが知恵を出し合い創意工夫し、このまちのすべての人々と手と手を取り合って協働し、共に国際化の道を歩むことで、世界に輝く静岡、「胸が高鳴るSHIZUOKA」の創造を実現するものと確信いたします。</p>		
(2)年間スケジュール		
月	日程	事業内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7	7日(火)～11日(土)	第33回国際アカデミー(福岡)デリゲイツ募集窓口
8		
9		
10	22日(木)	10月度第二例会
11	3日(火)～7日(土)	JCI世界会議(横浜)登録窓口
12		
(3)事業内容		
1	10月度第二例会の企画・運営	
2	ロードマップの検証・改定	
3	出向者支援活動	
4	出向先報告活動	
5	2021年度出向者募集	
6	第33回国際アカデミー(福岡)デリゲイツ募集窓口	
7	JCI世界会議(横浜)登録窓口	
8	SDGsの認知度向上に向けた運動の推進	
9	会員の拡大 3名	
10	第47回JC青年の船「とうかい号」一般乗船者募集 2名	
11	広報活動への協力	
12	各事業・地域事業への参加・協力	
13	公益社団法人 日本青年会議所への参加・協力	
14	公益社団法人 日本青年会議所 東海地区協議会への参加・協力	
15	公益社団法人 日本青年会議所 東海地区 静岡ブロック協議会への参加・協力	